

組み合わせパターン

パワーコンディショナ

TPV-44M TPV-55M
TPV-44M-J4 TPV-55M-J4



計測ユニットまたは
コミュニケーションユニット

計測ユニット：TPV-CM002C-SU
コミュニケーションユニット：TPV-WL1A

- * 表示器での表示は、パワーコンディショナの定格出力の合計が20kW以内の場合に可能です。
- * 表示器でのパワーコンディショナ登録は最大5台まで可能です。
(TPV-44Mなら4台、TPV-55Mなら3台まで)
- * 再生可能エネルギーの固定価格買取制度の余剰買取方式にのみ対応しています。

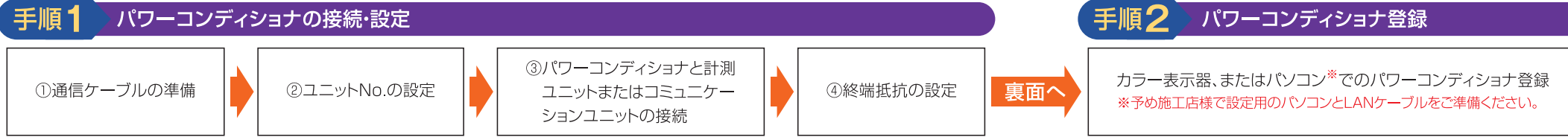
指示

電気配線工事は、第1種電気工事士または第2種電気工事士の資格を有し、かつ(株)東芝の施工研修を受講し、修了証をお持ちの方またはその管理・監督の責任のもとで行ってください。お客様は接続・設定を行わないでください。

注意

正しく接続・設定しないと、正確な計測ができなくなります。

作業の流れ



手順1 パワーコンディショナの接続・設定

CHECK! ①通信ケーブルの準備

- 計測ユニットまたはコミュニケーションユニットに同梱の通信ケーブル(5m)・・・1本
【同梱】PCS間通信ケーブル(屋内外共用)
 KP-CH-A4VG05S (5m)
- 別売の通信ケーブル(KP-CH-A4VG□□S)・・・
パワーコンディショナの台数から1本差し引いた本数
*下記の【別売】PCS間通信ケーブル(屋内外共用)から必要な長さのケーブルを準備してください。
- 【別売】PCS間通信ケーブル(屋内外共用)

型式	ケーブル長
KP-CH-A4VG03S	3m
KP-CH-A4VG05S	5m
KP-CH-A4VG15S	15m
KP-CH-A4VG30S	30m
KP-CH-A4VG50S	50m

注意
型式「KP-CH-A4VG□□S」以外のケーブル、市販のLANケーブルは使用しないでください。

CHECK! ②ユニットNo.の設定

計測ユニットまたはコミュニケーションユニットから**近い順**に、すべてのパワーコンディショナにユニット番号を設定してください。**連続前**に行ってください。

ユニットNo.の設定
*設置台数に合わせて設定してください。

パワーコンディショナ	1台目	2台目	3台目	4台目	5台目
ユニットNo.	0	1	2	3	4

注意
別項目の設定を変更しないでください。
表示部が「WAIT」(RS485通信待ち時間)を誤って変更しないでください。

注意
ユニットNo.の設定前に太陽光発電システムを起動させると、正確な発電量が計測できなくなります。

表示部	操作
	パワーコンディショナの運転スイッチをOFF、接続箱の開閉器をON、太陽光発電ブレーカをONにする。
	MODキーをUnitが表示されるまで12回押す。
	ENTキーを押すと初期値の0が表示される。
	設定したいユニットNo.が表示されるまでMODキーを繰り返し押す。 *現在設定されている整定値以外は1秒周期で点滅表示をします。 *設定を中止する場合はESCキーを押してください。
	設定したいユニットNo.が表示されたらENTキーを押す。 *設定した整定値が約3秒高速点滅し、点灯に変化したら設定内容が確定。
	ESCキーを2回押し、表示をOFFにする。

誤って設定した時はESCキーを押し、始めから設定をやり直してください。

CHECK! ③パワーコンディショナと計測ユニットまたはコミュニケーションユニットの接続

パワーコンディショナのフロントカバーおよび配線端子カバー、計測ユニットまたはコミュニケーションユニットのフロントカバーを開けた状態で、以下のとおりに通信ケーブルを接続してください。

計測ユニットまたはコミュニケーションユニット パワーコンディショナ

本体正面から見て
左側*通信コネクタ3 中央通信コネクタ2 右側通信コネクタ1

注意
*通信コネクタ3には接続しないでください。

【例】3台接続の場合

計測ユニットまたはコミュニケーションユニット

または

1台目 2台目 3台目

通信コネクタ2に接続 通信コネクタ1に接続 通信コネクタ2に接続 通信コネクタ1に接続 通信コネクタ1に接続

注意
各パワーコンディショナの通信コネクタに通信ケーブルを正しく接続してください。コネクタの接触不良の場合、正常に通信できないことがあります。

CHECK! ④終端抵抗の設定

終端抵抗1、2スイッチとも出荷設定はONになっています。

終端抵抗1を計測ユニットまたはコミュニケーションユニットから接続が一番遠いパワーコンディショナをONのまま、その他をOFFに設定してください。終端抵抗2はすべてのパワーコンディショナをONのまま設定変更しないでください。

パワーコンディショナ [拡大写真]

終端抵抗1 OFF ON OFF ON
終端抵抗2 OFF ON OFF ON
(操作表示ユニット用)

終端抵抗スイッチ(スライドスイッチ)

【例】3台接続の場合

計測ユニットまたはコミュニケーションユニット

または

1台目 2台目 3台目

終端抵抗1 OFF(上側)に設定する OFF(上側)に設定する ON 出荷設定

終端抵抗2 ON 出荷設定 ON 出荷設定 ON 出荷設定

注意
各パワーコンディショナの終端抵抗1、2が正しく設定されたことを確認してください。

手順2 パワーコンディショナ登録

カラー表示器 TPV-CM002C

カラー表示器からパワーコンディショナ登録をします。



カラー表示ユニット TPV-CM002C-CM
計測ユニット TPV-CM002C-SU

CHECK! ① 通信設定

カラー表示ユニットと計測ユニットの通信設定を行ってください。

くわしくは施工・保守マニュアルをご参照ください。

CHECK! ② 登録画面の表示

[初期設定ナビ]から設定する場合
[パワーコンディショナ登録]を選択し、「決定」を押します。

[メンテナンス]から設定する場合
メイン画面表示中にSW1、SW3、SW5を同時に5秒以上押し、メンテナンスを起動させます。
[パワーコンディショナ登録]を選択し、「決定」を押します。

CHECK! ③ 台数に応じて、ユニットNo.を登録

【例】パワーコンディショナの登録台数が3台の場合

パワーコンディショナ	機器No.	ユニットNo.	登録状態
1台目	00	00	使用
2台目	01	01	使用
3台目	02	02	使用

操作はSW1～SW5で行ってください。

CHECK! ④ 設定状態を確認

正常な場合：ユニットNo.が表示されます。

通信設定や通信接続が正しくない場合

「初期設定ナビ」または「メンテナンス」から「システム情報」を選択し、「決定」を押します。

注意：該当するユニットの背景が赤色となり、【無応答】と表示されます。手順1から再度、確認・設定を行ってください。

コミュニケーションユニット TPV-WL1A

パソコン*からパワーコンディショナ登録をします。初期設定の方法【動画】は右記QRコードよりアクセスしてください。



※予め施工店様で設定用のパソコンとLANケーブルをご準備ください。
コミュニケーションユニット TPV-WL1A

CHECK! ① 設定領域の確認

施工店様で設定
お客様ご自身で設定

LANケーブル
無線LAN
無線LANアクセスポイント

CHECK! ② 登録画面の表示

[初期設定ナビ]から設定する場合
[パワーコンディショナ登録]を押します。

[メンテナンス]から設定する場合/2台目以降を設定する場合
表示モニタのWebブラウザで以下のアドレスを入力しメンテナンスメニューを表示。
<http://169.254.1.1/ssmainte.cgi>
[パワーコンディショナ登録]を選択します。

CHECK! ③ 台数に応じて、ユニットNo.を登録

【例】パワーコンディショナの登録台数が3台の場合

パワーコンディショナ	機器No.	ユニットNo.	登録状態
1台目	00	00	使用
2台目	01	01	使用
3台目	02	02	使用

CHECK! ④ 設定状態を確認

正常な場合：ユニットNo.が表示されます。

通信設定や通信接続が正しくない場合

「初期設定ナビ」または「メンテナンス」から「システム情報」を選択します。

注意：該当するユニットの背景が赤色となり、【無応答】と表示されます。手順1から再度、確認・設定を行ってください。

CHECK! ⑤ 設定完了 ナビ画面にて、正しく電力量が表示されるかを確認してください。

実際の施工にあたっては、必ず「東芝住宅用太陽光発電システム電気工事説明書」「カラー表示器(TPV-CM002C)施工・保守マニュアル」「コミュニケーションユニット(TPV-WL1A)施工・保守マニュアル」をご参照ください。

東芝住宅用太陽光発電システム ご相談センター (受付時間) 9:00~17:00(祝日、年末年始を除く)

販売店様・施工店様他の窓口 **03-5352-7623** (通話料:有料)